学校番号	３００７

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数 A903　高校数学 A 改訂版　（実教出版）						
副教材等	ステップノート　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用ノートは板書をただ写すのではなく、出題された問題を自分で解きましょう。その際考えた経過や途中式を必ず書きましょう。復習する際に非常に役立ちます。
・定期考査前に要点確認のために対策プリント等を行います。考査本番で得点するためにしっかりと取り組みましょう。
・課題については期日を意識し、計画を立てて取り組み必ず提出しましょう。
・レポート課題にも積極的に挑戦してみましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学 A における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようしている。 また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 場合の数と確率	1節　場合の数 1. 集合と要素 2. 集合の要素の個数 3. 場合の数 4. 順列 5. 組合せ	a:・集合の要素の個数について関係式を理解し，補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。・和の法則・積の法則を理解し，それぞれの法則を用いて場合の数を求めることができる。・順列と組合せの考え方を理解し，それらの総数を計算することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) b:・集合の要素の個数の関係を用いて，具体的な事象を考察できる。・順列と組合せの考え方を利用して，場合の数の求め方について考察できる。 (発問評価・課題提出・定期考査) c:・順列や組合せの考え方を利用することに関心を持っている。・順列や組合せの考え方を利用して，身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。 (発問評価・課題提出)	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出

	1章　場合の数と確率	2節　確率 1. 事象と確率 2. いろいろな事象の確率 3. 独立な試行とその確率 4. 反復試行とその確率 5. 条件つき確率 6. 期待値	a:・確率の基本的な法則を理解できる。・組合せを利用して，確率を求めることができる。・排反事象や余事象の意味を理解し，確率を求めることができる。・独立な試行や反復試行の意味を理解し，確率を求めることができる。・条件つき確率の意味を理解し，確率を求めることができる。・期待値の意味を理解し，求めることができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） b:・試行や事象の考えを用いて，確率の基本的な法則について考察できる。・組合せや集合の考えを利用して，いろいろな事象の確率を考察できる。・独立な試行や反復試行の確率について，具体的な事象の確率を考察できる。・条件つき確率を利用して，具体的な事象の確率を考察できる。・期待値を意思決定に活用できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） c:・確率について関心を持ち，具体的な事象の考察に，確率の考えを利用しようとしている。・実験を通して頻度の割合を求めたりすることで，確率の意味を理解しようとしている。 （発問評価・課題提出）	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出

2学期	2章　図形の性質	1節　三角形の性質 1. 三角形の角 2. 三角形と線分の比 3. 三角形の外心・内心・重心 2節　円の性質 1. 円周角 2. 円と四角形 3. 円の接線 4. 方べきの定理 5. 2 つの円	a:・角の2等分線と辺の比の関係を理解し，線分の長さを求めることができる。・三角形の外心・内心・重心の性質を理解し，角の大きさや線分の長さを求めることができる。・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について理解し，角の大きさを求めたり，四角形が円に内接するか判断することができる。・円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質について理解し，その角の大きさを求めることができる。・円の接線の性質や方べきの定理について理解し，線分の長さを求めることができる。・2つの円の位置関係について理解できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） b:・角の2等分線と線分の比の式を導く過程を考察できる。・三角形の外心・内心・重心などの性質を考察できる。・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について，その性質を考察できる。・円の接線と接点を通る弦とのなす角について，その性質を考察できる。・円の接線や方べきの定理について，その性質を考察できる。・2 つの円の位置関係を考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） c:・三角形の性質について関心を持っている。・辺の長さと三角形の形状の関係や，三角形の成立条件などについて調べようとしている。・円の性質について関心を持っている。・2 つの円の位置関係と共通接線の本数がどのようになるか調べようとしている。 （発問評価・課題提出）	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出

	2章　図形の性質	4節　空間図形 1. 空間における直線と平面 2. 多面体	a:・空間における2直線や2平面の位置関係について理解し，それらのつくる角の大きさを求めることができる。・空間における直線と平面の位置関係についてどのような場合があるか理解し，直方体などについて各直線や各平面どうしが，どの位置関係に該当するかわかる。・正多面体にどのような立体があるか理解できる。・多面体の性質を理解し，頂点の数などを求めることができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） b:・空間における直線や平面の位置関係について考察できる。・多面体の性質について，その性質を考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） c:・空間における直線・平面の位置関係に関心をもち，調べようとしている。・多面体の性質に関心をもち，いろいろな多面体で調べようとしている。 （発問評価・課題提出）	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出

3学期	3章 数学と人間の活動	3章 数学と人間の活動 1節 数と人間 1. 数の歴史 2. 2進法とコンピュータ 3. 整数の性質とユークリッドの互除法	a:・数の歴史を理解し，古代の記数法を使って数を表すことができる。・10進法と2進法の仕組みについて理解し，2 進法で表された数を 10 進法で表したり，10 進法で表された数を 2 進法で表すことができる。・2 進法で表された数どうしの和を求めることができる。・約数や倍数，公約数について理解し，求めることができる。・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し，互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） b:・古代の記数法について考察できる。・0 のはたす役割の重要性を考察できる。・10進法と2進法の仕組みを考察できる。・長方形をしきつめる最大の正方形の 1 辺の長さと，最大公約数の関係を考察できる。・大きな整数の最大公約数を求めるときに，ユークリッドの互除法を用いると便利であることを考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） c:・数の歴史や整数の性質に関心を持っている。・古代の計算道具について調べようとしている。・数の仕組みを利用した遊びに取り組んだり，新たな遊びを見つけたり，考えたりしようとしている。 （発問評価・課題提出）	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出・定期考査	発問評価・課題提出

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度